

Linux サーバーの導入

山内優弥

2024 年 10 月 21 日

目次

0.1	この文書について	4
0.2	実行環境	4
第 1 章	Ubuntu の導入	5
1.1	Ubuntu のダウンロード	5
1.2	rufus のダウンロード	6

0.1 この文書について

Linux のディストリビューションの一つである Ubuntu の導入からサーバーとしての利用の手順を述べて文書である。また

ああああ

あああああ

や

いいいい

いいいいい

で書かれる文章は必ず読む必要はなく適当な補足であることにする。

0.2 実行環境

第 1 章

Ubuntu の導入

1.1 Ubuntu のダウンロード

今回は Ubuntu Japanese Team から日本語環境の Ubuntu のダウンロードをこのページ <https://www.ubuntulinux.jp/japanese> からダウンロードします。どのミラーサイトを用いても構いません。

Ubuntu の日本語環境のバージョンについて

今現在 (2024/10/21) 最新の LTS(Long-Term Support) バージョンは Ubuntu 24.04.1 LTS ですが、2024/06/10 の記事 (<https://www.ubuntulinux.jp/News/ubuntu2404-ja-remix>) において Ubuntu Japanese Team が Ubuntu 24.04 LTS の日本語 Remix をリリースしないことを表明しています。

Ubuntu の歴史

Ubuntu は、2004 年にリリースされた Linux ディストリビューションで、Debian をベースにしています。開発元は Canonical という会社で、創設者の Mark Shuttleworth によって立ち上げられました。Ubuntu の名称は南アフリカのズールー語で「他者への思いやり」や「人間性」を意味し、オープンソースコミュニティやユーザー間での協力を象徴しています。

- 2004 年: 最初のバージョン「Ubuntu 4.10 "Warty Warthog"」がリリースされました。Debian ベースで使いやすさを重視し、デスクトップ Linux の普及を目指しました。
- 2006 年: LTS (Long Term Support) リリースが導入され、「Ubuntu 6.06 LTS "Dapper Drake"」が最初の LTS 版です。LTS 版は 5 年間の長期サポートが提供され、企業や組織での採用が進みました。
- 2010 年: Ubuntu はデフォルトのデスクトップ環境を GNOME から Unity に変更しました。Unity はユーザーインターフェースを刷新し、使いやすさを向上させることを目的としていましたが、一部のユーザーから批判もありました。

- 2017 年: Unity の開発が中止され, GNOME デスクトップに戻ることが発表されました. 「Ubuntu 17.10 "Artful Aardvark"」で Unity から GNOME への移行が行われ, 従来のデスクトップ環境を採用する形に戻りました.
- 2020 年代以降: クラウドや IoT (モノのインターネット), サーバー市場でも Ubuntu は広く利用されています. また, Ubuntu ベースの派生ディストリビューション (Kubuntu, Xubuntu, Lubuntu など) がそれぞれのニーズに応じて発展してきました.

iso ファイルについて

気が向いたら書く.

1.2 rufus のダウンロード

rufus とはブータブル USB 作成するソフトウェアで次の URL からダウンロードできる. https://rufus.ie/ja/#google_vignette このソフトを用いて先ほどダウンロードした Ubuntu を USB に移して, この USB をパソコンに接続し, Ubuntu をブートする.